

新元号を当社社員みんなで予想してみました！元号が変わっても当社をどうぞ宜しくお願い致します！



STAFF ALPHA  
COMMUNICATION INC.

新卒で入社

まんぞく

ヒロイン 三野 佳音

スタッフアルファに入ってよかった！

お昼は先輩たちにご飯に誘ってもらえる

社長とも気軽に飲みに行ける！

休みの日には趣味を満喫！

スタッフアルファでは新卒が元気に活躍中です！



株式会社スタッフアルファコミュニケーション

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6-9-12 西葛西トーセイビル 4F TEL. 03-5674-7837 FAX. 03-5696-6341 <http://www.staff-alpha.co.jp>



# STOP WATCH

お揃いのオリジナル「新卒戦隊ナナレンジャー」Tシャツを着て代表松山の誕生日サプライズを執行する新卒7名。



## 史上最多7名の内定者が決定

採用担当によるスタッフアルファらしい内定者合宿へ

2019年新卒採用では当社史上最多の7名が内定。内定者研修の一環として、11月29、30日に毎年恒例の内定者合宿「アルファノココロ合宿」を実施した。「アルファノココロ合宿」は、会社の経営理念やアルファノココロ(当社の credo)を学ぶとともに、内定者同士の絆を深めることが目的である。採用担当者もより当社らしい採用になるような仕掛け作りに全力である。今年も当社ならではの「トンデモプログラム」を用意した。当社社員の写真付き「アルファトランプ」や、入社してから1年間の題材にした「スタッフアルファ人生ゲーム」、森の中で高さ20mを飛び回る「ターザニア」の体験。これらのプログラムを通して身も心も成長した(?)研修となった。今後、7名が社会の荒波とどう戦っていくのか楽しみである。こうした研修を通して「スタッフアルファマインド」を学び、スタッフアルファの一員となる内定者7名の活躍に乞うご期待。

## 個性豊かな3名の仲間

スタッフアルファに宮澤(写真左)、佐野(写真中央)、山田(写真右)の3名の新たな仲間が加入した。宮澤は現在、子供の遊び場施設の店長として活躍中。手先の器用さを活かし折り紙マスターを目指して勉強している。また独特の感性を持ち、オリジナリティ溢れる発想で子供たちを虜にしている。佐野と山田は管理部に加入した期待の2名。佐野は、4日間寝ずにゲームが出来るほど、物事に没頭するタイプである。持ち前の集中力を活かした活躍が期待できる。山田は大人しそうな見た目は裏腹にノリが良く、機転の利いた発想ができる点が持ち味。タイプの違う2名の管理部への加入は大きな進化になるはず。個性的な3名の活躍にも目が離せない。



## スタッフアルファの「働き方改革」

～残業を減らして報奨金～



昨今の働き方改革の波に乗り、当社で制定された賞「スマートワーカー」。この賞は、残業時間が少なく公休消化を効率的に出来ている社員に贈られるもの。今年度より制定され、上半期終了時の当社創立記念イベント「アルファプレミアム」でサプライズ発表された。その中で、当社独自の選定で栄えある第1回目の「スマートワーカー」は笠井大輔が受賞。「常に時間を意識し、1秒を削り出して効率良く業務に望む」社員の見本となるよう笠井は常に時間を意識する。日頃の行いを評価される場合は、社員一同にとって非常に貴重な場。社員一同が「働き方改革」を意識する事が会社の変革になるに違いない。

## 今年は松永が受賞!

～課題解決コンテスト～



スタッフアルファで毎年行っている「課題解決コンテスト」。全社員がエントリーしての企画プレゼン大会である。このプレゼン大会は、社内の環境や業務効率を改善する為の大会で、今までの「社員バス改善」や「ランチルームの設置」などの課題解決案が受賞し、実際に社内に取り入れられている。表彰は、スマートワーカー同様上半期終了時の当社創立記念イベント「アルファプレミアム」で盛大に発表される。今年は、松永望咲の「エントランス大改造計画」が栄えあるグランプリを受賞。「入口からおもてなし」をコンセプトに、生まれ変わるエントランスに期待が持てる。

## 才気炸発

▽いよいよ今年から消費税が上がる。日本に最初の消費税が登場したのは私が社会人2、3年目の頃。ちょうど大きな企業のコンベンションに携わっていた時代で、自分ではロクにホテルに宿泊したこともない癖に、イベント制作のみならず1000名を超える参加者の宿泊伝票の管理、精算をしたことが思い出される。▽当時の税率は3%。しかし、ホテルでは更に特別地方消費税なる謎の税金があり、いよいよ迷宮であった。

かなり根気よく1000人分の宿泊伝票、つまりレストラン利用から冷蔵庫の使用に至るまでをチェックして、消費税と特別地方消費税のパスル?をホテルの経理の方と侃侃諷諷やりとりした記憶が蘇る。そこでかなり自信をつけたものだ。▽海外では当たり前のように存在するこの消費税も我が国ではまだ30年程度の歴史である。してみると消費税と平成時代とは同じような「年齢」ということになる。▽今ではすっかり消費税の存在にな

ってしまった我々だが、導入当時のあのバタバタが懐かしいような気がする。決して数字に強いわけではない文系の自分がある種「成長」させてくれた消費税。8%時代を過ぎ今年から10%となるこの税率だが、まさに新時代と同じ年齢を重ねることになる。決して増税は嬉しくないが、少し寄り添ってみると10%と計算しやすいあたりはなんと可愛らしくさえ感じてしまうのは自分だけであろうか。

## 新年おめでとうございます。

お取引先各位におかれましては昨年も格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

いよいよ平成三十年間が幕を閉じ新時代を迎えます。振り返りますと弊社は平成6年に創業し、まさにバブル崩壊後の平成をなぞってきた企業と言えます。この頃では平成を振り返る新聞記事やテレビ番組も頻りに登場しますが、我々にとって平成史は社史といっても過言ではございません。ウィンドウズ95台頭によるネット社会の到来、そしてネットバブル崩壊、東日本大震災、リーマンショックなどによる経済の乱気流、そしてSNS文化の隆盛やオリパラ東京開催の決定。その都度、会社は大海の小舟のように来る大波に煽られてまいりましたが、おかげさまで

乗組員も少しずつ増え、なんとか業界レッドオーシャンを目的地に向かって進んでおります。今年は弊社にとっても創業25周年という記念の年になります。数年前から単なるイベント企画の枠を超えた「脱イベント」を掲げてまいりましたが、昨年はおかげさまでメインストリームのイベントプロモーション事業に加えて新たなプラットフォームを広げてまいりました。これもひとえにお取引先の皆様の温かいご愛顧、ご支援によるものと心より感謝して止みません。本年も引き続き新たな挑戦を続け「ファン作りのプロフェッショナル」をブランドコンセプトに邁進して行く所存でございます。末筆ですが各社様のご繁栄と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

## 新元号で迎える創立25周年

～周年企画4月より開始

本年9月に株式会社スタッフアルファコミュニケーションは創立25周年を迎える。設立は94年9月21日、平成元号で言う平成6年である。創業の地は中目黒、代表の松山ともう1人、井上の2名で立ち上げたイベントプロダクションである。江戸川区に移転したのは創業した3年後、最初は知人のオフィスの一角を間借りしてスタートしたが、数度の移転を繰り返して現在の西葛西に落ち着いた。意外と知られていないことだがウェディング事業はこの頃から続く当社の創業時を語るに不可欠な基幹事業の一つ。10周年を過ぎた頃にネイルアート事業がスタート、「マイネイルボックスフェアリーズ」がオープンした。ショッピングセンターの販促企画制作は創業8年目頃から開始したが、20周年の頃には新たに商業施設の催事管理業務を受託。そして昨年度、25周年を前に子供の遊び場運営業務「KPO(キッズプレイスオペレーション)事業も開始。多くのお取引先にチャンスをいただき25年間の成長を遂げた。本年4月より感謝を込めた様々な25周年記念企画が計画される予定。プロモーション会社が立案する自社の周年企画は果たしてどんなものが乞うご期待。



独立開業時の当社代表松山。当時はワープロ1台と机2つでの開業だったとのこと。最初のプロジェクトは、建設省の展示会。

## 2つの100周年式典、成功の内に幕



100年に1度の「一期一会」を演出

企業の創立を祝う周年記念式典。スタッフアルファも毎年、周年式典の進行演出や運営を受注している。周年記念案件は、当社の最も得意とするジャンルの一つ。今年は、制作期間約2年・参加者5000人規模の100周年記念式典2件を始めとして、他複数の案件を無事に終えることができた。周年という記念すべき瞬間において、新たな企業文化を創り出すお手伝いができることはスタッフアルファにとって大変光栄なことである。このような周年記念式典は、当社キャリアを存分に発揮できる案件。特にここ数年間は「50周年」「100周年」などの大型の周年を迎えられる企業様が多いようで、有難いことに引き合いも多数頂戴している。「スタッフアルファクオリティ」と呼ばれるような高い質の式典を今後も提供していきたい。

## 同時5ラインの事務局回線が稼働中!



プロモーションの事務局からまとめてスタッフアルファにおまかせ!

当社は実は事務局業務も得意としている。年間様々なジャンルの事務局を並行して社内にて設置。経験値とノウハウの蓄積を今日まで続けている。イベント本番・事前の制作業務に加え、事務局業務も請け負える企業として、御取引先各社様のプロモーションをトータルでサポートしていくことが理想だ。

《多岐に渡る本年対応の事務局の一部》

- ① パシフィック横浜で行われる展示会の全体事務局
- ② 小学校を対象とした出張授業の運営事務局
- ③ こどもの安心安全に配慮したデザインプロダクトの展示イベント事務局
- ④ 全国各地の特産品を一堂に会するコンテスト事務局
- ⑤ 全国の加盟店様にイベントコンテンツを提案・提供する事務局

## 年間約350～400件! 多様化する商業施設イベント



高まる需要! 担当施設数は昨年比で1.5倍増! 地域密着のコラボ企画も。

当社が年間で担当させて頂く商業施設関係の案件数は年間約350～400件程度。ここ数年を参照しても年々数を伸ばしている状況である。ここ数年は単純な案件数の増加に留まらず、当社に求められるニーズが変化を続けていることも印象的である。商業施設でエンドユーザーにヒットするコンテンツ提案やタレントブッキングは勿論のこと、施設内でのテナント協業での催事実施のサポートや、商業施設近隣の幼稚園・小学校・大学などのコラボ企画のプロデュースなど、施設ごと・プロモーションごとの需要の多様化は止まらない。独自の商品やサービスで提供などではなく、業界一への対応力で名を馳せようと、担当セクションのメンバーは意気込んでいる。